

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (中国)		乗用車販売店（業務担当）	・1～3月の年間最大需要期に期待が持てる。
		乗用車販売店（店長）	・客の動きは活発で来客数が大きく減少することはない。決算期を迎えるので例年以上に売上が見込める。
		一般小売店〔靴〕（経営者）	・高単価のものはプレゼント商品として展開していくことで売上増加を見込むことができる。
		スーパー（店長）	・暖冬傾向から本格的に寒くなることで冬物商材が動く。
		スーパー（店長）	・景気の現状傾向の悪化が暖冬の影響であるならば、今後の気温次第で十分に景気回復は見込める。ただし、衣料品や家電用品等の売上の増加には期待できないので、やや良くなるとの判断にとどまる。
		スーパー（販売担当）	・現在大手キャッシュレスサービスの導入を図っており、市場に新しい波が生まれることで、短期的ではあるが景気は上向く。同時にそれが当店にとっても新たな客の開拓や客単価上昇につながるチャンスになると捉えている。
		スーパー（販売担当）	・出雲大社の大遷宮が3月で終了するため、正月の帰省客に加え、平成最後の正月なので観光客数が増加し、土産品の動きが良くなる。
		コンビニ（副地域ブロック長）	・企業の景気の良さで平成30年7月豪雨災害からの復興による事業の拡大が見込まれる。
		家電量販店（店長）	・来客数は減っているものの客単価が上昇してきているので、来客数が増えれば良くなる。
		乗用車販売店（営業担当）	・年末商戦と年始の初売りで販売台数と来客数が増えるため、このまま決算まで盛り上がりが続く。
		乗用車販売店（営業担当）	・初売りや年度末商戦等で来客数の増加が幾分かはある。
		乗用車販売店（営業担当）	・決算期であることや消費税の引上げ前で、客の動きは徐々に活発になる。
		乗用車販売店（営業担当）	・決算期になり販売量の増加が見込まれ、景気は良くなる。
		自動車備品販売店（経営者）	・消費税の引上げ直前の駆け込み需要に期待が持てるが、その後が心配である。
		その他専門店〔時計〕（経営者）	・消費税の引上げが迫り、今のうちに購入する消費者が増えることに期待が持てる。ただ、株安など経済の不安定要因もあるため確実視はできない。
		都市型ホテル（企画担当）	・インバウンドの動きは活発である。国内は企業利用が堅調で個人利用は消費税の引上げを前に動きが出てくる。
		旅行代理店（経営者）	・旅行業界では特に品質を重視する状況になっており、客のニーズに沿った商品内容が問われてきているため、今後はそれに応えれば良い客をますます獲得できる。
		旅行代理店（営業担当）	・新しい年を迎え、春休みの旅行需要に期待が持てる。
		通信会社（工事担当）	・客の様子から景気は良くなる。
		競艇場（企画営業担当）	・3月上旬以降、売上が見込めるレースがある。
	設計事務所（経営者）	・消費税の引上げ前の駆け込み需要と供給業者が建て売りの案件を増やすことで契約件数が伸びる。	
	設計事務所（経営者）	・いよいよ消費税の引上げが現実味を帯びてきて、大金が掛かるリフォーム等の相談が増え始める。	
	住宅販売会社（営業担当）	・現在、引き合い案件が増えているので販売量は伸びていく。	
	商店街（代表者）	・単価の安いものや小分け品が好まれ、客の財布のひもが固くなることも来店間隔も長くなる。	
	商店街（理事）	・消費者の意識の問題は大きく、景気の良しあしの感覚よりも、景気が悪くなってはまずいので良くなってほしいとの願いを込めた消費行動となる。ただし、良くなる要素がないので景気に変化はない。	
	商店街（代表者）	・今月と同様に店舗間格差があり、身の回りの景気は変わらない。	
	商店街（代表者）	・客の慎重な購入姿勢に変化はなく、売上目標を達成することは難しい。	

一般小売店 [印章] (経営者)	・大企業からの注文の動きはあるが、動きがほとんどない中小企業はより厳しい状況になる。
一般小売店 [食品] (経営者)	・消費者の節約意識は当面変わりようがなく、このまま推移していく。
百貨店 (経理担当)	・冬場の2～3か月は天候に影響される部分はあるが、今の状況が続く。
百貨店 (営業担当)	・12月上旬からプレクリアランスセールを行っているが、売上は今一つで、年末まで期間を延長しても前年をクリアすることは難しい。
百貨店 (売場担当)	・郊外のアウトレットモールの影響が年末から年始に最も大きく出る。
百貨店 (購買担当)	・プレクリアランスセールが始まって必要な商品だけを購入する客の姿勢に変化はない。近隣の百貨店2店舗の閉店セールが予定されているので厳しい状況は続く。
百貨店 (売場担当)	・グループ店舗が12月末で閉店し、その客を計画どおり取り込めれば売上が少しは向上するが、根本的な景気の回復にはならず苦戦する。
百貨店 (外商担当)	・年末にかけて株価の大幅な下落があり、今まで高額商品を購入していた富裕層にも買い控えが起こるため、消費マインドが大きく改善する材料が見当たらない。
スーパー (総務担当)	・停滞している景気が変わる要因がない。
スーパー (業務開発担当)	・年明けになっても気温の高い日が続くと、単価の高い鍋の具材や調味料だけでなく、ガスボンベの販売量も落ち込んで全体が沈んでしまう。
スーパー (管理担当)	・来客数の減少が加速することではなく、減少したままの数値で推移する。
コンビニ (エリア担当)	・クリスマスケーキの注文が減少するなど客単価が上昇しないので売上が伸びないが、今後は工事客が増加してくるので来客数は回復傾向になる。
コンビニ (エリア担当)	・景気が回復しているとの実感は湧かない。
コンビニ (支店長)	・現状より良くなることも悪くなるとも言えないので、平行線の状況が続く。
衣料品専門店 (経営者)	・景気が良くなる要素がない上に、消費税の引上げもある。
衣料品専門店 (店長)	・景気が上向き要因がない。
家電量販店 (店長)	・暖冬で季節商材の動きが鈍い12月に比べれば販売量は増加する。
家電量販店 (店長)	・家電業界がネット通販に押されて来客数が減少傾向にあり、今後もこの流れは変わらない。販売の現場としては社員の接客力の向上に力を入れており、客単価を上げることで来客数の減少を補う努力をしているものの、来客数の減少に歯止めが掛けられないと、いずれ限界が見えてくる。
家電量販店 (販売担当)	・初売りに期待が持てる。
家電量販店 (企画担当)	・景気に変化が生じる要素はない。
住関連専門店 (営業担当)	・1月の初売りは乗り越えられるが、その後は景気が悪くなる。
その他専門店 [和菓子] (経営者)	・経営に影響する変化はない。
その他専門店 [土産物] (経営者)	・3か月前と比べて販売量が高止まりしており、好調を維持している。冬野菜、イチゴ、殻付きカキなどは生産量が見込めるため、このままの状態が続く。
その他小売 [ショッピングセンター] (所長)	・3月までは現状が継続する。ただし、インバウンドは平成30年7月豪雨災害以降、前年と比べて10%低下しており、観光地やアウトレットモールに隣接しているため影響が出る。
その他小売 [ショッピングセンター] (管理担当)	・景気が回復基調にあるとの話もあるが、貿易関係や経済面での不安要素は残っており、株価の低下など先行き不透明なところが消費マインドに影響する。
高級レストラン (事業戦略担当)	・例年、冬の期間は閑散期であり、来年もその状況は大きく変わらない。
一般レストラン (経営者)	・景気が良くなる材料はない。

一般レストラン（経営者）	・相次ぐ天候不順と、地方中小企業でのボーナスへの期待外れが大きく、消費に陰りがみられる。また、人手不足で休日を設ける店舗が増えて今後も厳しい状況が続く。
一般レストラン（店長）	・近隣でホテルの開業ラッシュがあり、インバウンドや観光客の増加が見込めるが、現状の落ち込みが大きいので差引きでは大きく伸びることはない。
スナック（経営者）	・ここ何年も現状が続いており、景気が良くなる要因がない。
その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（店長）	・閑散期なので来客数は増加しない。
観光型ホテル（営業担当）	・13府県ふっこう周遊割の終了が近いので、2～3か月先の景気は読めない。
都市型ホテル（企画担当）	・年度末に向けて需要は高まってくるが、足元の個人客の利用状況をみると、平成30年7月豪雨の影響による消費マインドの低迷が根底に漂っているのが不安材料である。
都市型ホテル（総支配人）	・例年2月はオフ期で来客数が伸び悩む時期であり、3月は例年並みの先行予約状況で推移している一方、米子空港の香港便、ソウル便増便による旧正月時期のインバウンド需要に期待が持てる。
タクシー運転手	・繁忙期であるはずの12月の乗車率が悪いので、年が明けてもこの状況に変化はない。
通信会社（企画担当）	・設定単価の高いサービスや商品に客の関心が高まっている傾向は1月以降も継続する。
通信会社（営業担当）	・客の購買意欲は高まっているが、客単価が低下しており、販売量は増加しても売上は横ばいとなる。
通信会社（総務担当）	・引き続き光電話サービスの加入が見込める。
通信会社（総務担当）	・改元による特需で景気が上向くかは不透明である。
通信会社（経理担当）	・周囲から景気の良い話を聞くことも実感もないので、しばらく変化はない。
テーマパーク（管理担当）	・地方消費は伸びず、現状のまま推移する。
観光名所（館長）	・来客数に特に目立った傾向はない。
ゴルフ場（営業担当）	・冬は直前の天候で集客が大きく変わるため、1～2月は例年並みとなる。
設計事務所（経営者）	・建築費が高止まりで人手不足の状況が続いており、経済政策などが出ない限り現状に変化はない。
住宅販売会社（従業員）	・消費税の引上げのタイミングの影響を見極めている慎重な客が多い。
商店街（代表者）	・オーバーストア、デフレ、少子化、インターネット販売の影響が続き、客はより安くオールシーズンで着られる商品を求めるため、消費マインドが低下する。
一般小売店〔茶〕（経営者）	・国内消費は引き続き厳しく、売上が低下しても利益の出る商売を考えなければならない。
一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	・日本全体の景気が悪くなり、中心街への客足は鈍る。
百貨店（外商担当）	・12月に閉店するため近隣商店街への誘引力が低下し、少なからず影響が出てくる。
百貨店（営業企画担当）	・周辺店舗の閉店が多く、店周辺の人通りが減少している。
スーパー（店長）	・客単価は前年の102%で推移しているが、来客数は前年より4%減少しており、このまま減少傾向は続く。
スーパー（店長）	・来客数の減少傾向が強くなってきているため、景気は徐々に悪くなっていく。
スーパー（財務担当）	・クリスマス商戦は盛り上がり欠け、年明け以降、年末年始の反動による節約で売上が減少する。
スーパー（営業システム担当）	・株の値動きが良くないとの報道によって不安が広がり、客の財布のひもは固くなる。また、年末の予約状況が芳しくないため、今後の恵方巻等の予約件数の増加が余り見込めない。
乗用車販売店（統括）	・大手自動車メーカーの報酬虚偽記載問題がこれからも影響する。
自動車備品販売店（経営者）	・ネットなどの無店舗販売に価格で負けるため、大規模なデパートも影響を受け始めていることから、店舗を持つ対面販売は衰退する。日本の商業はネット販売により大きく変革していく。

	その他専門店〔布地〕 (経営者)	・地方には景気の良い風は吹かず、努力している街には人の流れはあるものの、そうした街は少ない。
	一般レストラン(外食事業担当)	・早い時間のディナータイムの利用は増加しているが、21時以降の売上が前年の70%となっている。ランチタイムは好調で、団塊世代の客が増加している。新年会、送別会、卒入学などのニーズはあるが、人材確保が課題となっている。人件費が経営を圧迫しないよう店休日の増加、営業時間の短縮も検討しなくてはならず、営業体制の維持が難しくなり、経営は厳しくなる。
	都市型ホテル(スタッフ)	・株価が下落しており、消費マインドの低下が危惧される。
	タクシー運転手	・運転手が不足しているため売上は減少する。
	タクシー運転手	・新年会を控える傾向があり、また、悪天候の予報なので1～3月の乗車率はそれほど伸びない。
	テーマパーク(業務担当)	・イルミネーションイベントが終わり、入園者が減少する雪の季節になる。
	テーマパーク(営業担当)	・イルミネーションが終わり、春の花のシーズンまでは入園者の動きは悪い。
	観光名所(館長)	・米国の自国第一主義と日本の株価下落の要因が大きく、株安円高が進み過ぎると健全な企業経営にもかなりの負担になる。
	美容室(経営者)	・来客数が増加する要素はなく、売上が上昇することはない。
	美容室(経営者)	・ボーナスが増加した客はいるが、基本給が上昇している様子はないので景気は悪くなる。
	美容室(経営者)	・必要なものとそうでないものの区別をはっきりさせて、来年の消費税の引上げまでに大きな出費をする客が多い。
	× 一般小売店〔眼鏡〕(経営者)	・消費税の引上げが目前になり、その後は客が買い控えになる。
	× タクシー運転手	・現状の乗車率が上昇することは難しい。
	× 通信会社(広報担当)	・都市部で騒がれるほど地方の景気は回復しておらず、デフレ状態は続く。
企業 動向 関連 (中国)	輸送用機械器具製造業(経営者)	・2～3か月前に新車が立ち上がるので忙しくなる。
	不動産業(総務担当)	・賃貸住宅物件の需要時期に入るため、景気は良くなる。
	繊維工業(監査担当)	・売上が上向き、メーカー段階での出荷数量が前年比3%増となっているので新学期商戦に期待が持てる。
	輸送用機械器具製造業(経営企画担当)	・現状増加傾向の受注量が、更に増加する内示となっている。
	輸送用機械器具製造業(財務担当)	・足元の若干の市況回復見通しを受け、景気はやや良くなる。
	輸送業(支店長)	・電子商取引の需要は高まり、荷物の個数は増加していく。
	通信業(営業担当)	・年度末に向けた需要の高まり、消費税の引上げ前の駆け込み需要、改元による特需での景気回復に期待が持てる。
	農林水産業(従業員)	・景気が好転する要素がない。
	食料品製造業(総務担当)	・原油価格が低下しているが、下がり幅が小さいので物流コストが不安要素となる。為替も安定しておらず景気を見通すことは難しい。
	木材木製品製造業(経理担当)	・米国と中国の貿易摩擦を始めとして、世界景気が伸び悩んでいる。日本は消費税の引上げ前の駆け込み需要で景気が上向き要素はあるが、海外からの貿易摩擦による景気低迷と人手不足による新設住宅着工数の伸び悩みで景気は変わらない。
	化学工業(総務担当)	・景気に変化する兆候はない。
	窯業・土石製品製造業(総務経理担当)	・生産量が落ち込む様子はないが、人手不足の状況は継続する。
	鉄鋼業(総務担当)	・国内の需要環境は好調に推移するが、米中貿易摩擦に起因する景気動向によっては、周辺各国含めて市況や需給環境が悪化するリスクがある。
	非鉄金属製造業(業務担当)	・電子材料関係の製品価格の低下は続かない。
	金属製品製造業(総務担当)	・工作機械業界の得意先は大型機械を中心に案件が増えていないため、先行きは厳しい。
	一般機械器具製造業(総務担当)	・受注量や販売量の動きに変化はない。

	一般機械器具製造業（管理担当）	・客からの発注を受けている。
	建設業（総務担当）	・当面、現状が続く。
	輸送業（経理担当）	・大幅な数量増減の情報はなく、景気は余り変わらないが、年末の数量が増加したためトラック不足が続いており、これが長引けば悪くなる。
	輸送業（総務担当）	・景気に大きな変化は見られない。
	通信業（営業企画担当）	・今年度の情報通信関連の設備投資は、年度内に追加で受注する案件が、前年同期と比較して減少する。
	金融業（貸付担当）	・現状は年末年始の特需があり、今後は年度末の特需も見込める。
	広告代理店（営業担当）	・進学や春の観光に関連する受注が例年あるが、現状維持の展開で推移する。
	会計事務所（経営者）	・消費税の引上げ前の駆け込み需要や補助金・助成金、その他施策の効果によるプラス面が米国と中国の経済摩擦動向、株価下落、消費税の引上げの心理的マイナス影響によって相殺される。
	食料品製造業（経営者）	・副資材関係の値上げで経費が膨らんでいるが、価格転嫁は難しく経営状態は悪化する。
	化学工業（経営者）	・米国と中国の貿易戦争は一向に出口が見えず、景気の悪化は続く。
	鉄鋼業（総務担当）	・電子材料を中心として受注量が落ちる。
	建設業（総務担当）	・大型物件の比率が高く、予定工期が後ろにずれるケースが多いため、売上高の数値把握が翌期にずれ込むおそれがある。また、資材が高騰し、納期に時間を要する状況となる。
	金融業（融資企画担当）	・米国大統領から発した貿易戦争により、世界的な景気減速が懸念される。地元完成車メーカーの生産は今後やや減少するとみられ、系列の地元自動車部品メーカーの受注も緩やかに減少していく。
	x	-
雇用 関連 (中国)	求人情報誌製作会社（経営者）	・3～4月にかけて年間で最も求人数が増える時期を迎え、飲食業、卸小売業、サービス業など全分野のアルバイトやパートの募集が増加するとともに、正社員広告でも底堅い求人数を維持する。その一方で、求人が減っているパチンコ業界の回復は厳しくなる。
	人材派遣会社（支店長）	・年度末に向けて新年度の体制強化のために求人数が増加するとともに、求職者も動き出すので景気に影響が出てくる。
	新聞社 [求人広告]（担当者）	・米中貿易摩擦、消費税の引上げなどの悪影響があるが、東京オリンピック、皇太子殿下の御即位、改元など景気を高揚させる材料が多々ある。
	職業安定所（職業指導担当）	・大島大橋への貨物船の衝突に伴う断水と通行制限が解除されたことにより、今後、周防大島を中心に景気が回復する。
	人材派遣会社（社員）	・季節的に人の入れ替わりが激しい時期になり、引き続き求人数が求職者数を大幅に上回る傾向が続く。
	人材派遣会社（支社長）	・長い目で見れば景気は上向いていくが、労働力が伴うかが疑問である。
	求人情報誌製作会社（広告担当）	・全国的に景気は上向きであるが、当県内の企業でそれを実感しているところは少なく、若年層の人材確保に苦戦する状況は続く。
	職業安定所（所長）	・今後も人手不足感の高い状態が続き、来春の新規高卒者の求人倍率が2倍超と好調で、一般求人の求人倍率もバブル期並みの高い水準が継続する。
	職業安定所（事業所担当）	・大型廃業の情報は一切なく、求職者も減少傾向なので、当分の間は現状のまま推移する。
	民間職業紹介機関（職員）	・米中関係の問題、株価の下落、中国の成長率の鈍化など地元メーカーには向かい風の状況が続く。
	学校 [短期大学]（進路指導担当）	・新卒採用企業の動きには、前年度と比べて特段の変化がない。
	学校 [大学]（就職支援担当）	・周囲の様子から今後景気がすぐに良くなる気配は少ない。
	人材派遣会社（経営企画担当）	・米中の外交摩擦の影響が懸念される。
	求人情報誌製作会社（営業担当）	・メーカーの採用計画数が減少する。
	民間職業紹介機関（人材紹介担当）	・東京オリンピックが近づくとつれ、地方の人手不足が悪化する。

